

前期第2回

人生百年時代、ひとりから始める

「まちづくり」の楽しさ！

平成30年10月21日(日)

講師：NPO 法人まちづくり支援センター 代表理事 ^{ためくに} 為国 ^{たかとし} 孝敏 氏
ファシリテーター・宮森勝市 国際交流
まちづくりコーディネーター

まちづくりとは、居住と生活の場である「まち」を「維持し、育み、創り出す」活動のすべてが当てはまり、市民がそれに参加することが大切です。協働とは、異なる考え方を持ったものが共通の目的に対して活動することで、今までにないものを創り上げていくことです。また、「市民と行政の協働」とは、市民と行政がそれぞれの特性を活かすことは当然ですが、ここで言う「協働」は双方が不足する、あるいは欠点とすることを互いに補完し合う事が重要であります。それと同時に「協働」で忘れてはならない事は、行政（事務局）が制作した事業（案）を「市民」が便乗してボランティアする事ではありません。一から双方で事業を対等に作業進行することで、「協働」において上下関係や優位性は存在しません。

まちづくりの目標は、地域（経済）の活性化と地域活力の活性化です。まちづくりを推進するためには、自分たちのまちを誇りに思う心、明確なまちづくりビジョン、他にないオリジナリティ及び明るく楽しく元気よく継続する力が重要です。

ひとりから始まる地域活性化には、まず自分で動いてみる、そしてやる気のある人を集めて、みんなのやる気を行動に移すということが必要です。

講演の中では、成功事例などを例に挙げ、わかりやすく説明をしていただきました。



○参加者の感想・意見について（主なもの）

- ・体験に基づいた内容と心構え等、今後の人生に於いて自分のできることがあり、半歩でも進んでいきたいと感じた。
- ・一人から始める「まちづくり」を目指して大事なことだと思えます。「まちづくり」第一歩だと思えます。市民の一人一人がそれをいかにして意識してもらおうかだと思えます。
- ・ボランティアが始まりだと思うが、一人ではできないと思っています。勇気を出したいなど半歩踏み出したいです。心の持ち方大変ですね。